

第7章 下水道ビジョンの実現に向けて

第7章 下水道ビジョンの実現に向けて

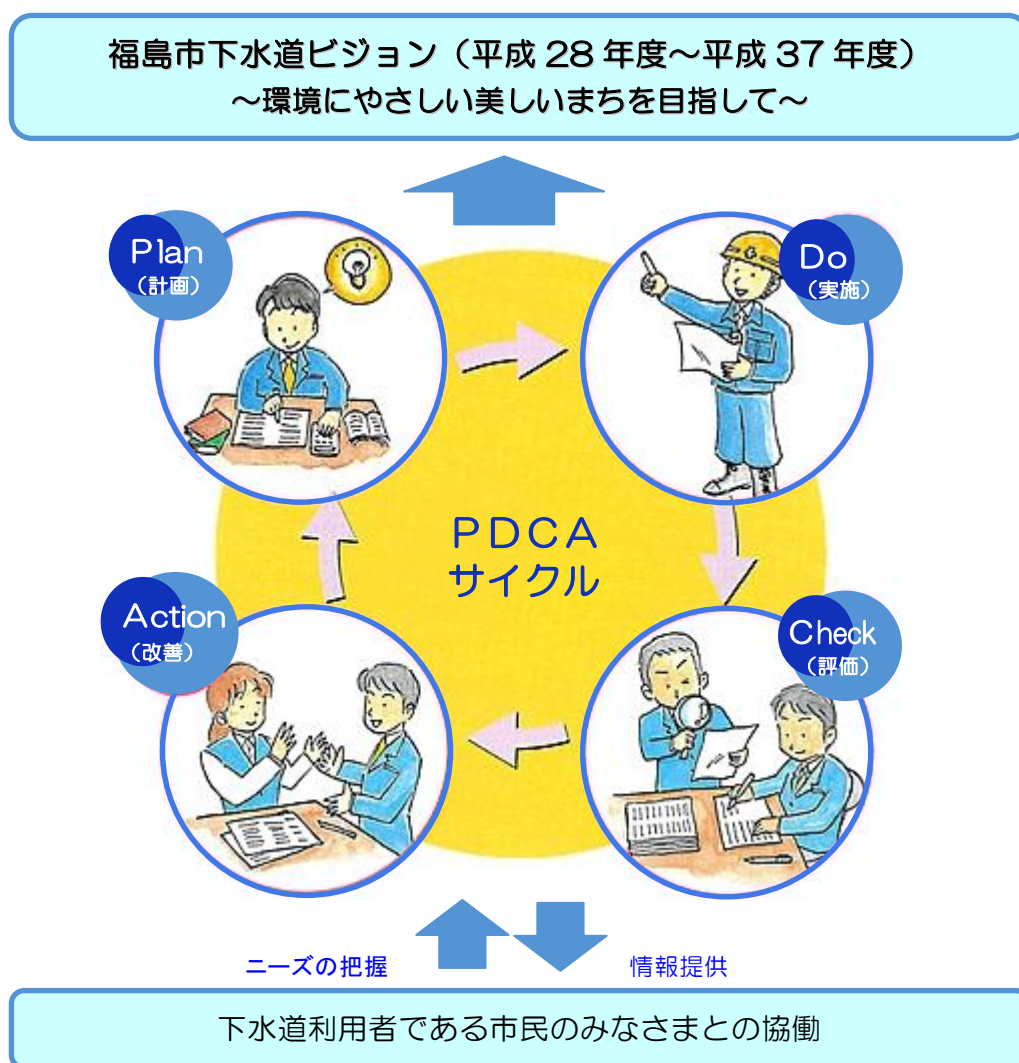
第1節 福島市下水道ビジョンの進行管理

『福島市下水道ビジョン』では、平成28年度から平成37年度の10年間で下水道が目指すべき姿として、基本理念および基本方針を策定しました。

また今後、『福島市下水道ビジョン』の実現に向けて『福島市下水道ビジョン アクションプログラム』を策定し、具体的な下水道施策内容を決定します。

平成28年度からは、『福島市下水道ビジョン アクションプログラム』に基づき各種下水道施策を実施していくこととなりますが、『福島市下水道ビジョン』を着実に実行し、「環境にやさしい美しいまち」を未来に渡って創り上げていくために、PDCAサイクルにより、①計画の構築（Plan）、②事業の実施（Do）、③目標達成状況の確認・検証（Check）、④見直しの改善（Action）を行っていく必要があります。

『福島市下水道ビジョン』の実現にあたっては、PDCAの各段階で市民のみなさまの声を聞かせて頂きながら各種施策を実施していきます。



用語：アクションプログラム、PDCAサイクル



第2節 アクションプログラムの策定方針

『福島市下水道ビジョン』は平成28年度から10年間の下水道事業に関する基本方針を定めたものであり、前期（平成28年度から平成32年度の5か年）と後期（平成33年度から平成37年度の5か年）に分類して、具体的を実施する事業を抽出し、『(仮)福島市下水道財政計画』と整合を図りながら事業を展開していきます。

この5か年計画である『下水道ビジョン アクションプログラム』では、以下の内容を具体的に設定していきます。

『下水道ビジョン・アクションプログラム』で定める内容

1. 『福島市下水道ビジョン』と『アクションプログラム』の体系
2. アクションプログラムの構成
3. 『福島市下水道ビジョン』に位置付けた基本理念・基本方針ごとの具体的施策内容
 - ① 具体的な施策・事業内容
 - ② 具体的な実施箇所・実施事業量
 - ③ 具体的な実施時期
 - ④ 主な担当部署
 - ⑤ 施策実施による活動指標（事業量等）または目標指標（普及率等）
 - ⑥ 施策実施に必要な事業費
4. 『(仮)福島市下水道財政計画』との整合性確認
5. 『アクションプログラム』の進行管理方針

図7.1 福島市下水道ビジョンを基にした今後の関連計画策定体系 [再掲]

◆平成26・27年度

福島市下水道ビジョン(平成28年度～平成37年度)【中期計画】

福島市汚水処理施設整備基本構想(段階的整備方針)の見直し

◆平成27年度

各種施策方針を反映

(仮)福島市下水道財政計画(平成28年度～平成37年度)

◆平成27年度

経営見通しと
具体的施策の調整

アクションプログラム(前期)
(平成28年度～平成32年度)

◆平成32年度検討

アクションプログラム(後期)
(平成33年度～平成37年度)

用語：アクションプログラム

第3節 情報提供の方針

福島市下水道部では、主な施策の一つでもある「柱 3-3 市民との協働—施策 27：① 市民ニーズ等の把握・対応手順の効率化」を目指し、利用者である市民のみなさまに向けて「施策や事業投資に対する理解」と安心や安全性など「下水道への信頼」を得るために、ホームページなどを用いて利用者に積極的な情報提供を行う予定です。また、計画の進捗状況を公表し、利用者の視点からその実施効果を検証するため、メールなどを用いて意見を募集し、高いレベルでの下水道サービスの提供を図っていきます。

下水道に関する情報は広報誌に掲載し、より多くの方に情報を発信していきます。

図7.2 情報提供のイメージ

